

令和2年9月14日 議会改革特別委員会 議事録
10時45分 開会

○出席委員 (8人)

委員長 寺岡 公章

副委員長 日域 究

委員 藤川 和弘、小中真樹雄、小田上尚典、西村 一啓、網谷 芳孝、
山崎 年一

議長 細川 雅子

○欠席委員 なし

○寺岡委員長 皆さんおはようございます。

全員おそろいですので、議会改革特別委員会を開きます。

早速日程に入っていきたいのですが、これまで試行、実施したものを検証して、改良できるところは改良していきましょうということ。それから、決算特別委員会の意見集約を中心にさせていただこうと思います。

最初に検証と改良ですが、これまで当委員会の活動として、皆さんの御協力のもと、SNSの実施、委員会中継の試行、討議の導入が形になってきています。一つずつ検証していこうと思います。

まずSNSですが、フェイスブックで記事をどんどん載せてくださっています。2時間前にも市議会のページで、今日の特別委員会と議員全員協議会の紹介がなされています。頻繁に書き込んでくださり、議長と局長には感謝したいんですけど、こういった情報について、例えば今日の記事は委員会を開催しますよということなんですけど、これはどちらが書いてくださったんですか。局長が、ありがとうございます。議長はどういったところを書いてくださっていますか。これまで。

議長どうぞ。

○細川議長 前回休ませていただいて申し訳ありませんでした。

私はどっちかというと、終わってから書くことが多いのですが、具体的に言いますか。

○寺岡委員長 例えば。

○細川議長 例えば、直近では9月8日の本会議が終わりました。ユーチューブで公開しますとか、その前のバックが黄色の本会議1日目終わりましたと、あしたは1時から、一般質問が1人残ってますというような、感じのものをできるだけ写真を入れながらと努力してます。あと公務はできるだけ載せようと努力しています。直近では四国銀行の頭取が来られたのとか、写真入れてと思って努力してます。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

皆さん方御覧になられていかがですか、こういった調子で続けていくということによろしいですか。特に内容もまずいものはないと思いますし、比較的取っつきやすい言葉で書いてくださっていますので、議会の活動というのは伝わっていると思うんですけど。特に

何かあれば伺っておきたいのですが、なければこのまま議長、局長には続けていただこうかと思うのですが。

小田上委員。

○小田上委員 おはようございます。

内容としては読みやすいですし、すごくいいかなと思うのですが、気になる点が幾つかあります。本会議が始まる時には、初日一般質問になろうと思うので、一般質問の通告表はホームページ上に公開していると思うんですね、そのPDFをそのまま貼り付けるだったりリンクを貼るだったり、2日目議長が黄色いバックで上げていただいている投稿ですか、ああいうところでも議案の一覧とか概要みたいなものに簡単にアクセスできるようになれば、もっと市民の方のアクセスがしやすくなると思います。なかなか議案の概要に入っていくところがホームページ上難しいような気がするので、どんな審査をするのか、どんな議案が上程されるのかが分かればいいと思いました。

あと特段貼る必要がないなっていう場合には、写真と大竹市議会のページ、トップページ、そのリンクを常に貼っといてもらえれば、例えば公務であって、最後に大竹市議会のホームページのリンクを貼っておけば、いいのかなと思いました。

以上です。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

藤川委員。

○藤川委員 確認ですが、今シェアはもうしてよくなったのかどうか。

○寺岡委員長 なっています。

○藤川委員 今、アップされている画像ですが、画像をコピーして、私個人で使ってもいいのか、確認です。画像を自分のサイトなりに使っているのかと、その文章のシェアだけだったらフェイスブックだけですよね、なのでこの画像も文面も、例えばこの常任委員会の中継を自分でも宣伝したいので、使っているのかという確認を、すみません。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

今、横に広がっていますが、ほか何か横に広げとくことありますか。

今お二人から御意見頂戴しました。小田上委員のほうからですが、これは進めるべきではないかなと思います。要は大竹市ホームページの市議会ページへリンクを貼ることはやるべきだと思います。何もないうちトップにつなげるというのも、もちろんいいんじゃないかなと思いますので、ここは議長、事務局の負担になりませんし、やっていただくということでもいいですか。どうしてもできないときがあると思いますけども、そんな難しい作業でもないと思います。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○寺岡委員長 それでじゃあ、次回からそこら辺も気にしといてください。

それからフェイスブックに投稿した画像をほかのところで使っているのか。これほかのアプリのシェアもあり得るかと思うんですね。ツイッターとか今で言えばLINEとか、インスタはともかくとして、これ事務局どう思われますか。

局長。

○**田中事務局長** 根拠なしに思いを言えば、一旦フェイスブック上に議長なり私なりが上げた画像であれば、事前に使いますよと一言言っていたほうがいいと思いますが、基本的にもうフェイスブックに上げてしまった以上は、市議会のパブリックのものとなっているので。市議会の方でまずは使われるということに対して、特段その制限はかけられないのかなという気はしています。昨年、議員研修で著作権に関する研修をしましたが、確認して、問題ないかどうか確認させていただいてからということでもよろしいでしょうか。

ユーチューブのリンクについてはこれ出てるものなので、本人でここにあるよっていうのは、よくネットの世界ではやられていることですから、特段問題ないのかなと思っています。むしろ何かお知恵があれば御教授いただけたらと思います。

以上です。

○**寺岡委員長** 藤川委員。

○**藤川委員** すみません、画像は確認していただいて教えてくれれば、ばんばん使っていきますので教えてください。

それまでにフェイスブックのURLですかね、そのコピーペーストというか、よその自分の独自のサイトに貼ったりとか大丈夫ですか。

○**寺岡委員長** これまでの確認では、問題ないかなというふうな流れになっていると思います。

ただ先ほどの話でいくと、我々議員が画像を転用したりするのは、もちろん問題ないんですが、一般の方でもできるような仕組みですので、ここにフィルターをかけるかという話になるんですよ。ですので、確認の間はフィルターをかけざるを得ないかなと思うのですが、このあたり皆さんどう思われますか、もう今日ここで、それはもうフリーで使ってもらっていいんじゃないかっていうことであれば、その方向で進めていって問題ないと思うんですけど、内容がまずいものというのはありませんから、どうでしょうか。

小中委員。

○**小中委員** 一応いろんなものにも著作権があるので、慎重に対処したほうがいいのではないかと、私は思います。

○**寺岡委員長** 副委員長。

どうぞ。

○**日域委員** 今、小中委員のおっしゃったことも一理はあるんですけども、そもそも意向でいいとか悪いとかいう権限があるのかなという気もしますし、公に出してしまったもので、書いた人がそれで利益を得るものであれば、それを横取りしたら営業妨害になりますけども、そういうものじゃなくて、出した人はできたら広く皆さん見てくださいねっていうスタンスでしょうから、まあいいんじゃないのって、問題が起こりようがないような気がしますけどもね。

○**寺岡委員長** ほか何かあれば伺いますが、どうでしょう。

それじゃあ慎重論もあります、局長には著作権のこと、どこか相談できる場所があれば、市のフェイスブックがどうなってるんかとか、そのような調査をしていただきながら、基本的にはどこかで使われて問題ないものを載せているという前提ですので、このままで

いきながらというところまでいきたいと思います。また分かったら、この場で教えていただきたいと思いますので。

ただいまの取り扱いについては、こういったところかなと思うんですがよろしいですか。議長。

○細川議長 著作権の問題ですけどね。

例えば画像、写真やいろいろ貼りつけていますよね。この写真は自由に使ってもいいですよ、この写真は取られて使ってもらったら困るみたいな、そういう仕分はできるんですか。企業が来られたときに御一緒に写真撮っていただいています、全部一応確認はしています。フェイスブックに載せてもいいですかということで、了解をいただいた上で載せているので、大丈夫だとは思いますが、議会関係者の中だけでしたら、皆了解済みでいいと思うのですが、それ以外の方が入る写真をアップしたときに、それも自由にいろいろ加工して使えるようになるのは、もしかしたらあんまりよくないような気がします。どんな使われ方するか全然分からないので、そこは不安なんですけど、どうなんですかね。

○寺岡委員長 今のお話で何か、お答えいうんか何かお考えある方いらっしゃいますか。どうぞ。

○小田上委員 大竹市のフェイスブックは何か行事があった場合に、参加されている方たちの画像は出てきています。それがダウンロードできるかできないかと言われると、できる状況にあると、特段、注釈で二次利用が駄目とは僕は見た限りは見つけれられない。なのでそのあたりが今、市の広報のほうクリアできている部分があると思うので、そこを確認してもらってやっていただくのがいいかなと思います。本当に複製、二次利用が困る場合は写真に大竹市議会とか、転用や複製を禁じますみたいな、写真自体にその文字を入れ込むという方法も在りかなとは思いますが。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

SNS、インターネット上に載りますっていうのを御許可いただいた時点で、例えばこのフェイスブックに関して言えば、そのあたりは全部ひっくるめて御了承いただいたものかなと、個人的な認識は持っておりましたので、今の議長の御心配と小田上委員のほうの今後の扱い、また事務局で確認をお願いしたいと思います。

ですので当面これでいきますので、いろいろこれから御心配も起こるかもしれませんが、そういったことをそれぞれが、委員それぞれでチェックといいますか、気にしといていただきたいと思いますのでお願いします。

SNSほか何かないですかね、違う話題といいますか、違うことで。

小田上委員。

○小田上委員 フェイスブック上でっていうわけではないのですが、グーグルなりヤフーなりの検索で、大竹市議会フェイスブックって調べても、トップページ、検索結果に上がってこないんですね、大竹市フェイスブックだったりとかっていうのは出てきますけど。なので、議会フェイスブック内の設定だったり作り込みだろうとは思いますが、検索結果が上がってくるようになっていたほうが、議会中継がついていうタイミングで、フェイスブックを使われてない方が検索したときに、たどり着けないっていうことがありましたん

で、見れるようにしておいてもらえれば、フェイスブックに登録してなくても、一応文章読んだり是可以するっていうことになりますので、その出てくるように設定を、工夫してもらえたらと思いました。

○寺岡委員長 今のは実現に向けて、工夫してみましょう。

そのほかどうでしょう。

〔なし〕と呼ぶ者あり〕

○寺岡委員長 取りあえず検証というところはこの程度にしたいと思いますが、皆さん方もこのページぜひ御覧になっていただきたいと思います。自分らの活動がどういうふうで紹介されとるのかを知るということで、足しげく通ってください、よろしくお願いします。

では続いて、委員会中継のほうに入ります。

実際に、9月定例会の委員会中継をしていただきました。いろいろ御意見もあつたと思いますし、結局、両常任委員会と議会運営委員会も、もしかして流したんですかあれ。

局長。

○田中事務局長 議会運営委員会は公開しておりません。公開しているのは両常任委員会のみでございます。

○寺岡委員長 分かりました、ありがとうございます。

いろいろ委員それぞれに協力していただいて、自分の所属している常任委員会でないほうは、3分でいいから外で見ていただきたいとお願ひしたところ、皆さん視聴して下さったようです。感想とかでもいいですし、こうしたらいいんじゃないかというところ、課題をお聞かせいただけたらと思うんですけど、いかがでしょうか。

小田上委員。

○小田上委員 何点かあるんですが、まず音声は基本的には、僕が視聴した環境、パソコンとスマートフォンであれば、途切れることがネット回線の環境もありましたけど、基本的には問題なく聞けたというところで、傍聴に来なくてもいいかなと思うくらいのレベルまでできているなと思いました。

ただ気になった点がユーチューブ、タイトルは生活環境委員会、総務文教委員会と書いてあるのですが、テロップを出すみたいなのを、事前にされていたはずだったと記憶しているのですが、それが出てなかったかなってところ。

あとは実際にやってみて改善点かなと思うところは、休憩の間に、今休憩中ですっていうものが表示されてないとよく分からないかなと、審議中なのか休憩中なのかの区別がつかないなっていうところ、あとはマイクが有線じゃない場合、バッテリー式のものだったりする場合とか、実際、答弁者が映像上で見えないので、何でもたついているのかが分からないなっていうところもあつたりしました。

あとはユーチューブの動画の説明欄のところに、議案の概要なりリンクを貼ってもらえれば、その動画を見ながら議案の概要に飛ぶこともできるなと思った点と、あとはトップ画像、日程を出していただいていたと思うんですけど、もう少しいつの委員会ですっていうのが、分かるようになってればいいのかなと思いました。

今後でいくと、やっぱり執行部のほうも市長の答弁とか聞いてますと、市長が映らない

のは寂しいなと思う点もあったりすると、三役の手元が映るっていう問題点があったみたいで、メモ書きとか文章、見えてしまうのではないかっていうところは気にされてました。

あとは、個人的にはあんまり感じなかったんですが、発言している議員の名前等出てくればいいんじゃないかっていう話も聞いたりはしました。

ひとまずは以上です。

○寺岡委員長 結構出ましたね、ありがとうございます。

テロップを誰が出すかという話になるんですけども、事前に聞いてた話だと、今この委員会やってますよというのは、もう準備はしてあったと聞いてたんですが、その辺どうですかね。

局長。

○田中事務局長 録画して、そこにテロップを載せる方法は分かってたんですけど、今回生中継にテロップを載せる方法がまだよく分からなくて、今回できてないという状況です。ユーチューブの中継のタイトルのほうには委員会名を書いておったんですけども、生中継中のテロップの出し方はもう少し勉強の時間をいただけたらと思います。

以上です。

○寺岡委員長 併せて発言者名や休憩中というところも含めて、まだ即答できないということですか、分かりました。

皆さんこのあたりは、実現する方向で調査してもらおうということによろしいですか。そんなもん要らんよということであれば、はなから考える必要ないんですが。

どうしましょう、小田上委員。

○小田上委員 すみません、自分が上げといてなんですけど、発言している議員の名前は結構手間がかかると思います。作業する人数も限られてますんで、休憩中かどうかっていうところと、あとは委員会名のテロップそこが最低限かなと、議員の、発言している議員の名前っていうのは、難しいかなっていうのが、今人員の状態ではそういうふうに思ってます。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

副委員長。

○日域委員 例えば、傍聴に入ってくるじゃないですか委員会に、名前ないですよ、誰がしゃべってるか分かりませんよね、だからそんなもんですよ。ただね私、今小田上委員がおっしゃったことは確かにあったらいいなっていうことなんですけども、正直画像見て、今の小中委員の席と小田上委員の席が入らないのではないかっていう懸念してましたけど、ちゃんと映ってましたからね。たださっきありましたけど、その執行部の市長と教育長のラインは映りませんから、市長が手を挙げて立ち上がるとぼわっと映るわけですよ、後ろ姿が。その辺は現状では仕方ないと思いますが、それはあっち側の方から見たら、こっち側にカメラが欲しいよねって思われるとは思いますが。でも、今やっていることについて、私は正直大満足ですし、この前の委員会聞いた人からもちゃんと連絡ありましたけど、目的は達成できたと思ってます。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

技術的なことも含めて調査していくということ、実現ができそうで予算かからずに実現が手間なく、あと人手もかからずできそうであれば導入するのは、市長にとってはいいことかなとは思いますが、テレビ局に依頼して何とかっていうわけでもありませんから、あまり高度過ぎるのを求め過ぎても、本来の予算をかけずにやっているというところが違う方向にいきますんで、まずは調べるところだけやってみましょう。お願いします。

それからカメラが執行部側のほうも映すかどうかということなんですけど、ここは当面は難しいかなというふうに思います。ただ前回、前々回皆さんに確認してあったように、時期が来て予算もめどがついて人員がかからずにできるようなソフトが見つかって、ワンクリックできるようになるよということであれば、ぜひやっていくべきかなというふうに思いますが、これ一つ課題として残しておくべきことかなというふうなところで、整理させてもらいたいと思います。

併せて、人がワイヤレスマイクに移動して説明をするときも、カメラが委員長席から説明員側に向いとるのがつけば、そこら辺も解決すると思いますし、ここも当面は我慢していただきましょうというところできたいと思います。

あとは、手元のメモが見えるというのは、よくないというか重大なことにつながってはいけませんので、机30センチぐらい下げますか、全部。

局長。

○田中事務局長 総務文教委員会の午前中に手元が見えるという意見聞きまして、机を下げています。

○寺岡委員長 下げたんですか、じゃあこれ解決済みということで。

○田中事務局長 そうですね、それでもやっぱり市長、副市長、教育長は、起立されると後ろ頭が映るんですけど、机上にあるものに関しては、見切れるような格好になっているので、書類のほうは前に出さないと見えないかと思います。

以上です。

○寺岡委員長 これは解決済みということでよろしいですかね、ありがとうございます。

それから、ユーチューブのページのサムネイル。ユーチューブのいろいろな動画が見れるわけですが、大竹市議会の何々委員会行けますよという紹介画面に、現在は議事日程が出ている。これはいつの委員会かという紹介について。

小田上委員どうぞ。

○小田上委員 ユーチューブで、今アーカイブとして残ってるものは、ここの委員の席が映った状態のものになってると思います。中継をするときに、今ライブ配信中ですっていうところで、再生するための画面、そこは議事日程が映ってたと思います。なので、両方ともサムネイルって言われるものにはなるんですけど、そこでいつの何かっていうのが分かるようにしてれば、説明文を読んだりタイトル読まなくて、大抵ユーチューブはそのサムネイルですかね。サムネイルと呼ばれるものを見て再生されますんで、そっち側で説明しといてあげたほうがいいかなと、タイトルといつと、何月何日の何々委員会って文字が出てれば、そのほうが分かりやすいんじゃないかなと思いました。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

あの日程は写真でしたよね、PDFとかじゃなくて、じゃあ裏紙にマジックで何月何日何々委員会何時からぐらいで、そういうことでしょ、小田上委員。それでどうでしょう。局長。

○田中事務局長 いただいた御意見を参考に横長の画面で見える、概要がよく分かるような内容を、検討してみたいと思います。

以上です。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

概要はまた違う話やったんじゃない、リンク貼るっっちゃう話やったけど。局長。

○田中事務局長 概要というのが、その委員会で何が審議される、付託されてる内容とかが分かりやすく、あと議事日程というものでよろしいですか、ぱっと見で分かるような形でというのでいかがでしょうか。

○寺岡委員長 どう思いますか。

小田上委員。

○小田上委員 再生するときにスマートフォンだったりタブレットからだったりすると、画面すごく小っちゃいと思います。そこで何月何日生活環境委員会ぐらいの文字があって、概要とか何が審議されるとかは説明欄のところがあるので、そこにリンクを貼っついてあげたほうが親切なのかなとは思っています。

○寺岡委員長 確認やけど、その画像のリンク、説明欄にリンクを入れるということよね。そのあたりは事前の手間が増えてくるけど委員長の仕事にする。事務局の負担がどれぐらいになるかっていうのがすごい心配なんですよ。事務局どんなですかね。どうぞ。

○田中事務局長 まだどこまでやるかというところ御相談させていただいて、次の委員会の際に手間数といったところも確認させていただいてから、今後の運用を考えさせていただけたらと思います。

○寺岡委員長 分かりました。

さっきから宿題ばかり渡して申し訳ないのですが、いろいろ調べとってください、よろしくお願いします。リンクは、今の部分も含めていうことですのでお願いします。

そのほか委員会中継について皆さんから何かお気づき、課題等ありましたら伺いたいんですがどうでしょうか。

西村委員。

○西村委員 常任委員会の放送を見たという電話を私もいろいろいただきました。今の市議会、総務文教委員会と生活環境委員会の2つを放送されとるわけ、あそこのテレビの分で見ると、今の市長の後ろ姿が映るとかいろいろ、皆さんはきれいに映ってますので、金をかけず事務局の手を煩わさないだったら、そこの委員長の前に、文章で何月何日総務文教委員会とタイトル板を置けばずっと映るわけ、それは途中で見た人もぱっと分かる、だからそういうことをやれば2枚しか要らんわけだから、長めなのを委員長前辺りに

置けばきれいに映ると思います。

以上です。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

今のは、テロップに関して手間がかかるのであれば、そういうやり方もあるんじゃないかということで、参考にさせていただきます。ありがとうございます。

ほかどうでしょう。

議長。

○細川議長 これ本会議の生中継もそうなんですけども、結構皆さん数字の読み違いがあったり、言い間違いであったりとか、法律名を間違えたりと、原稿書いていても間違えて読むことがよくあるんですよ。それをこのユーチューブ見られた方が、これを議事録としていろいろと言われるとよくないかなと、本会議録とか委員会の議事録も、正式には全部そこら辺は文字や字句は修正してできますので、そこは何か、よくよそのホームページ見ると、これは議事録ではございませんのでみたいのが載ってる場合があるんですけど、そこを何かうまく工夫して書いといたほうが安全ではないかと思うんですけどね。何かうまい方法あれば、知恵を絞ってください。

○寺岡委員長 今議長がおっしゃられた不安はそのとおりだと思います。また答えもおっしゃってくださったので、ヒントと言いますか。これは議事録、修正じゃなくて、文字や数字の整理を行う前のものですみたいな辺を、毎回フェイスブックでも何でもいいし、載せておけばいいと思いました。

局長。

○田中事務局長 本会議の録画中継のホームページには注意事項ということで4点あるんですが、1点目に、この議会議中継は本会議の公式記録ではありませんという字句を入れています、そのほかはユーチューブとの契約の関係でありますとか、画面の企業広告とか、アクセス集中した場合に中継が見れなくなることもありますといったようなことが、3つそのほかありますが、正式なものではないよっていう一文は説明のところへ加えればいいと思いますので、その分は次から対応させていただきます。

○寺岡委員長 ありがとうございます。早速お答えいただきまして、じゃあそのように対処したいと思いますのでお願いします。

副委員長。

○日域委員 今のお話非常に面白いんですけど、例えば野球の世界でジャッジが決めたことが正式決定なんですけども、これだけ画像が出てテレビ中継すると、間違えたら大変なこととなるじゃないですか。今こういうの始まりましたけど、さっき議長がおっしゃった読み違いとか、それこそ1ページ飛ばして読んだなんていう話は昔の人よく聞きますけども、お互いに人間ですから、間違ったりうそ言ったりするんですけども、でもそれでも議案は紙ですから、それを賛成多数で可決すれば、そこで何言ったとしても決まったことは事実ですから、議会というのは議決機関ですから賛成多数でいいんだと思いますし、例えば市議会議長会とか県議会議長会というところのOBさんが書いた本なんか見ると、極端に言えば異議ありって誰か言いますよね、議長がわし聞こえんかったでって言えば、とおるって

いうんですよね極端に言えば。だからその場で決める、このある意味議会とは何かということ、皆さんがパソコンのコンピューターのプログラムのよう手順を踏んで結論出してるわけじゃなくて、生の人間がこうやってやるわけですから、韓国の国会なんか消火器まくんですから、それで物事決まっていくわけですから、だからある意味では、今の話いいし、ある意味では人間がやってるんだからいろんなミスあるよと、でもそうやって世の中進むんよっていう勉強の場にしてもいいと思いますけど、あまり小さなことを気にしなくてもいいと思います。それからさっきのメモが見えるっていう話も、それ極端に言えば国会中継も、誰かさんとこをアップして回転してこういうものやってたっていうのもあるじゃないですか。私昔議会傍聴に来た人に、一番上の傍聴席から下見たら、あの人が何か書きよったって話聞いたことありますけども、公開ってそういうことですから、だからどこに目があるか分からないというの前提にやるんであって、そこに並んでる人たちは公式の場でオープンな場にいるわけですから、ある程度は覚悟しないと、あれがいけないこれがいけないって言ったら秘密会することになりますから。お互い不完全なんですから、そこそこはあんまり言うとも何もできなくなるんで、見て面白い議会であつたらそれでいいんだろうと私思いますよ、ちゃんと仕事できて、と私の思いです。

○寺岡委員長 副委員長、今のはこういった考え方もあるんじゃないかという程度でよろしいですか。

○日域委員 一応そういうことです。

○寺岡委員長 そういう捉え方も、我々議員としては会議に限らず、いろいろところで皆さん方からチェックを入れてくださっていただいているので、そのあたりを会議中も改めて意識を持ち直しましょうと、そういうことの御発言だったと思います。

私も気づきが2つあります。特別委員会をどうするかということ、録画をいつまでネット上に残すか、この2点の結論を今日ではないにしても出しておきたいんですけど。

まず特別委員会いかがでしょうか、例えばうちは公開していただいても全然構わないんですが、見ていて面白いものかどうかは分かりませんし、要はニーズがあるかどうかも分かりません。広報広聴特別委員会は議会だよりも中心になっていますので、見る方いらっしゃるかもしれませんが、なかなかニーズはないんじゃないかなと思います。基地周辺対策特別委員会なんていうのは、逆に欲しい情報をその場で手に入れられる方っていうのはいらっしゃるかもしれませんが、あくまで今のは個人の感想なんですけど、議員全員協議会ひっくり返してこのあたり、常任委員会以外をどうするかっていう皆さんお気持ち、伺いたいんですけどどうでしょうかね。今日結論出なくていいんですよ。

小中委員。

○小中委員 それでなくても今そのトライアル・アンド・エラーの段階なので、あんまり一遍にウイングを広げないで、取りあえずは2つの常任委員会でもいいのではないのかと私は思います。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

ほかどうですか。

副委員長。

○日域委員 私も今の意見に賛成ですけども、特に広報広聴特別委員会こそですよ、編集委員会ですから、あれは本来公開しちゃいけないような気がするんで、だからあれが一番最後だと思います。

以上です。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

じゃあ当面、この2つの常任委員会で走りましょうか。また何か住民の方からニーズがあって、何であれを映さんのんやっていうことが、声が高くなってくれば、また課題にさせていただくというところできましょうか。

網谷委員。

○網谷委員 2つの常任委員会ということなんですが、広報広聴特別委員会の場合は裏方みたいな仕事ですから、これは考えないけんのですが、基地周辺対策特別委員会は、興味のある方多いんじゃないかと思うんでね、これはそんなにも経費がかからんのなら入れても差し支えないんじゃないかと思うんですが。

以上です。

○寺岡委員長 このタイミングでそれを特別委員長に打診するかどうかというところですが、何か御意見ないですか。

どうぞ。

○小田上委員 広報広聴特別委員会考えると、ある意味でぎっくばらんな委員会ですので、自由討議形式のような委員会なので、内容もその公開すべき内容かどうかっていうのは、正直難しいかなと思います。ただ、きちっとこの議会改革特別委員会も含めて、あと決算特別委員会・予算特別委員会あたりも、もし事務局等の負担にならないのであれば公開して、あとは取捨選択するのは視聴者の方だと思うんで、負担にならないようであれば止める理由はないかなと、僕が一市民であれば議会改革が見たいですし、予算特別委員会・決算特別委員会は見たいなと個人的には思います。

○寺岡委員長 ほかどうですか御意見。

ただ特別委員会をどこどこは映してどこどこは映さないっていうのは、最初は避けたほうがいいかなと思うんですよ。やるかやらんかっていうところですけどもね。

藤川委員。

○藤川委員 私思うにまずこれをやってること世に知らせることが、私は大事じゃないかなと、もちろんこれを今から中身を濃くしていくことも大事なんですけど、総務文教委員会ですが、ずっと見てるときに一番多いとき20人でした。もちろん、議員の方も見られてると思うんですよ四、五人は。執行部の方と話したら皆さん興味があって下で見てたと、これは数十人見てたと思うんですよ、てことは市民の方どれだけ見とったんかいう話ですよ、だからまずは市民の方にこういうのやってるぞと、録画も何日かは流れているんで見てほしいというのを、まずは知らせるべきが先かなと思います。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

いろいろ御意見が出てきました。委員長からの提案なんですけど、今回の決算特別委員会は諦めて、来年の予算特別委員会でどうするか答えを出す程度でいかがかなと、てことは、

来年の3月からほかの特別委員会も流すかどうかを決めるというところです。スケジュールを送ります。今回、9月定例会は活動計画をみんなで見ようということになってましたんで、青いところを追加させてもらったんですけど、20番に書かせてもらいました。改善策運用規則を作るとかんにやいけんなど、内部のもので構わないので、こういうところのいかがでしょうか。今日は結論出さないということです。ただ、一番近場にある令和元年度決算特別委員会は諦めるというところですが、いかがでしょうか。

小田上委員。

○小田上委員 そうですね、両常任委員会が中継されて個人的にはすごくいいと思うんですが、確かにこの規則どこまでがよくて悪くてとか、こうしてください、ああしてくださいというものがいい中で、どんどん広げていくってのは、怖いかなって思うのは思いました。なので、これでいいと思います。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

ほかいかがですか、もし特に強い思いがなければそういうふうにさせていただきたいんですけども、いいですか。

副委員長。

○日域委員 話が戻るんですけども、さっき西村委員からローテクですけどなかなか、ここでもここでもいいですよ、字を書いたら映るじゃないですか。執行部のことですけど、これ小田上委員に聞くわけでもないんですけど、例えばここにカメラ置いたらあっち映りますよね、当然切り替えなきゃじゃないですか、例えばあっちの人がしゃべったらあっちに変わるって、それは自動的にやるって非常に難しいと思います。でも例えばの話、一番素朴に誰かがスイッチ式にして、どっちのカメラを拾うかっていうのを簡単にできるのであれば、誰かがすればいいですよ。こっちのぴっと押したら、答弁するときにはこっち側ぴっとやる。こっちがしゃべるときにはあっち側でぴっ、あっちでなくてもいいんですけども、ああいう意味非常に分かりやすいローテクのレベルですけど。だからハイテクばかりじゃなくて、ローテクが意外に欠点をカバーするということはあるので、さっきの西村委員のアイデアは私は目からうろこでしたけど、私もよく分かるし、何かそういういろんな材料混ぜながら、よりいいものにしていけたらいいなという気がします。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

じゃあ今は試行段階ということですので、もう少しこの試行期間というところを活用するというところでいかしてもらいたいと思います。

もう1件が録画として、今ユーチューブのサイトに残っていますが、あれ自動に消えるもんですか時間がたてば。

局長。

○田中事務局長 本会議については2年で消えるというふうにお聞きしております。

以上です。

○寺岡委員長 2年で消えるということで受け止めたらいいですか。

局長。

○田中事務局長 すみません、中継録画に関してはまだ設定はしてないんですけども、本

会議については2年で消えるような格好にしておりますので、何がしか決めていただいたほうがよろしいかと思えます。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

いかがですかね。ずっと残しとくってというわけにも、こちらは残つといて問題ないんだけど、ユーチューブの会社の都合もあるでしょうし。

小田上委員。

○小田上委員 ユーチューブの動画が毎日新しいものが上がってくるってことであれば、数を減らす、アクセスしやすくするっていう点で消すのも一つかなと思うんですけど、年間常任委員会の回数考えてもそこまでないですよ。数が少ないと発信してないような感覚になるのかなと、あえて消す理由もないですし、個人的に上げてるもので恐縮なんですけど、3年前のものとかまだ残していますし、再生されたりとかもあるので、それは残しておくことに不具合がなければ、特段消すこと定めなくてもいいのかなとは思いますが。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

ちなみに局長、本会議2年の根拠は何かありますか。

どうぞ。

○田中事務局長 手元に正確なものはないんですが、本会議中継を始める際に申合せで決められたのではないかということなんです。

以上です。

○寺岡委員長 その申合せを今ひもとくってというのもあるんで、本会議に準じるということで2年というところでは。

どうぞ藤川委員。

○藤川委員 先ほど小田上委員がおっしゃったように、僕も残しておくことに賛成です。全然、多分残しとくからって負担になるようなことではないと思うんです。今、見たら本会議は4年前のも残っているんです。僕、前皆さんがどういうことをおっしゃっているのかなと思って見回ったときに、4年前のも出ていました。

○寺岡委員長 どうです、じゃあ放置でいくということで。

副委員長。

○日域委員 今の話ですけど、正式に残つとるんか何かの影響で残っているのかですけども、私、昔この市のホームページがあるじゃないですか、市のホームページ絡みだと思いますけど、あるときのあるものを情報公開請求したことがあるんですよ、市にね。そしたらないって言うんですよ、ないから実はネット上にはあるんですよ、なぜかって。これネットから取ったもんだけどもらいました。だから一旦上がってしまうと、それがどこにどういうのか知りませんが、市のホームページも何回かやり替えてますよね、以前のやつは何か変なんに落ちる話、前にも聞きましたけど、だからもともと、そういう切れっ端が宇宙のごみのように漂うってのがこの世界ですから、なかなかある意味、だから探してみたらあったというのと、正式に本来のオーナーが削除したかどうかとはまた別問題みたいな、何とも言えない世界だという気がしますけども、だからそういうこと前提に物を考えたらいんじゃないかなと思います。

○寺岡委員長 網谷委員。

○網谷委員 局長の説明で、この本会議をユーチューブにアップすることによって、申合せのような形で2年ということ、今言われたんで、この今委員会も本会議で準ずるということで2年ということで分かりやすくいいんじゃないですかと思うんですが、私の意見ですが。

○寺岡委員長 ほかいかがですか。

残してもいいという方と、本会議準じるという方とそれぞれありますけど。2点で、ただホームページからのリンクも本会議の場合残ってるんですよね、多分。

局長。

○田中事務局長 市のホームページの議会のところの議会中継のこの録画中継でいくと2年前、平成30年の9月定例会、12月定例会までのリンクを貼ってあります。ただ、先ほど副委員長おっしゃられたように、リンクが切れてるけれどもユーチューブ上にはまだそのまま残ってるという状況にはなっているのかなと思います。申合せ云々の話、録画中継始めたのがもう大分前になりますので、ものが残っているかどうかは定かではありませんが、再度調べてみたいと思います。

以上です。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

いろいろ御意見出まして、3か月、半年でなくすものでもないですし、これも今後運用規則を作成していく上で、また改めて意見を出し合って試行も繰り返す中で、何かアイデアが出るかもしれませんし、今日はこの意見交換の程度にさせていただいてよろしいですか。両方の意見があると、残す消すという、それぐらいでさせていただければと思います。

委員会中継について、皆さんから御意見いただいたんですが、次の討議のほうに移ってよろしいですか、自由討議のほうに。

小田上委員どうぞ。

○小田上委員 すみません、最後に1点だけ。

市のホームページの議会中継の欄行くと、今、録画中継とケーブルテレビ中継のみです。試行期間っていうこともあって、このネット中継ってものが出てないんだろうと思うんですが、これを先ほど藤川委員が言われた周知させるっていうところの目的で、いつをめどにここに載せるかっていうのが、委員長の中でおありですか。

○寺岡委員長 ここちゅうのは、ホームページ。

○小田上委員 ホームページの議会中継の欄のところ、今録画中継とケーブルテレビ中継2つのみの紹介になっているので、これはインターネット中継っていうところで新しくつくるってところをいつをめどにとか。

○寺岡委員長 基本的には、規則ができないといけないかなというふうには思ってますので、その頃かなと思います。今は、ただホームページから直接リンク先を貼るイメージでした。手間がどうですか、ホームページ3回行かにゃいけないのですよね。

どうぞ。

○田中事務局長 直接リンク貼ってみていただく、録画画像は休憩を含め全部入ったままになっているので、そこをカットし、午後の日程に入るような編集をしたものを掲載することを検討しています。いかがいたしましょうか。

○寺岡委員長 そのほうが見る人に対しては親切ですけど、何かあります、小田上委員。どうぞ。

○小田上委員 すみません、録画編集されたものを見るときはそれでいいかもしれないんですが、例えばフェイスブックで、今日ありますなり、新聞なりで今日委員会あると、本会議、委員会があるなど分かった段階で、委員会中継を見に行きたいとしたときに、直接ユーチューブっていうものからじゃなくて、大竹市のホームページからも大竹市議会のユーチューブのチャンネルに行けるような窓口をつくっといたほうがいいんじゃないかなと、インターネット中継をリアルタイムで見るためにアクセスするところということです。

○寺岡委員長 今の、生でっていうことですよ。

○小田上委員 そうです。

○寺岡委員長 そこが、そのURLをホームページに貼るのにどういう手間がかかるのかという、例えば局長の決裁とかがいるのかどうかとか、3階に行って企画財政課長にお願いせんにゃいけんのかとか。

どうぞ。

○田中事務局長 事前に中継用のURLを先取得してから、今回もフェイスブックに貼って周知したわけですけど、それを直接貼るというお話ですよ。その貼る場所をどこにするか、現在であれば録画中継と、あとはケーブルテレビ中継というのが大きくなりサイトで用意してございますが、ここに新たに委員会中継という形にしてリンクを貼る場所を設けるのか、もしくは日程かどこかにリンクを貼りつけるかというやり方が、いろいろ考えられると思うんです。そのあたりを委員会の中でまた決めていただけたほうが、作業があれこれやるよりは確実に効率的かなと思います。

以上です。

○寺岡委員長 事務局がそれでいいならいいんですが、ホームページに書き込むのが結構手間だったというイメージがあるんですけど、その辺はどうなんですか。

どうぞ、局長。

○田中事務局長 おっしゃるとおりでございます。ホームページが市全体のものになってまして、承認が二段階必要です。1回目は私のほうが確認して済むのですが、二段階目が総統括しております企画財政課のほうでチェックをしてからという格好になります。どうしてもそこにラグがあるので、今回フェイスブックで即時性が高いほうを使わせていただいたということですが、それでも準備の時期を早めれば、実際の委員会より前に貼ることは可能なのかなという感触ではあります。

以上です。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

そういうことも一回挑戦してみますか。どれぐらいラグが、企画財政課の事務処理も含めて、どれぐらいかかるのかというところが。市のホームページの議会中継の2つの下ぐら

いに、ユーチューブ大竹市議会で確認してくださいみたいな、それでリアルタイム見れますよみたいな紹介ぐらひは、今の時点では書けるかなというふうな気はしています。

副委員長。

○日域委員 今の本会議の中継がありますよね。あれは要するに、ふれあいチャンネルで流していますよね。議会において重要性の順位をつければ、やっぱ本会議でしょ。ある意味下請的な部分が委員会ですから、本会議の中継は、今ふれあいチャンネルの契約がないと見ることできないんです。委員会は今もう始めてますけども、これはインターネットですから世界中に公開するわけです。そういう仕組みを考えたときに、どうかなって、本会議が、これがまたふれあいチャンネルっていう会社があって、そこの兼ね合いで、これおたくに独占的ですからという約束があるかどうか知りませんが、それでもって、ふれあいチャンネルの契約者数を増やそうという、そういう多分思いもあり、ああいうこと始めたときやったんだと思いますが、議会の都合を言えば、あそこでふれあいチャンネルに流している画像を、そのままユーチューブでストレートに流せば物すごく便利になると思います。ただそうするとふれあいチャンネルを契約するメリットが、また一つなくなるんですよ、これはそれこそさっき私言いましたビジネスの話ですから、難しいかなと思います。でも委員会はもう丸見えなのに、本会議見ようと思ったらお金要るんよっていうと、うんと考えてしまいますし、そこクリアするべき部分があるのかなという気がします。

○寺岡委員長 じゃあ、次のどっちかの常任委員会で挑戦してみましよう。ホームページに直接リンクを貼るというのを、うまくいかなかったらそのとき考えましよう。その程度でいいんじゃないかと思うんですが。

どうぞ、網谷委員。

○網谷委員 今の副委員長の意見に私も前から、今回この映像見まして、本当に費用対効果ですか、費用に対する相当な効果が出るとるわけですよ、ということで、本会議はかなりの経費がかかるということで、冗談にも、本会議の中継もこっちにすればいいんじゃないのと、冗談で言った覚えがあるんですが、その辺のところの議論はしてはいけんのかどうか。これは予算にもかかってくるもので、極論言いますと要らないんですから、こういうユーチューブに出るのであれば、見る人も多し、経費もかからないということで、その辺のところ、この委員会で議論していいものかどうか分かりませんが、一言申し上げました、すみませんどうも。

○寺岡委員長 今の時点で、議会改革特別委員会で議論しちゃいけません。議会全体のことですんで、下準備をして、例えば議員全員協議会なり、あとは会派でしっかり意見をまとめていただいて、委員に限らない方々の考えをどういうふうにくみ上げるかっていうところを、ちゃんと段取りしてからじゃないと、うちはそこまで今のところまだやりましようとなってますので、お気持ちはすごく分かるんですけどもね、先ほど副委員長の話の中に民間のビジネスの話もありましたし、結構いろいろ問題抱えてますので、すぐというわけいきませんので、そこは御理解ください。

中継は当面このままいきながら、いろいろ挑戦してみるというところで意見出ました、よろしいですか。ありがとうございます。

次の自由討議も、今日の意見交換の一つに上がってるんですけど、今回は実践こそされませんでした、私も気づきの一つあったりして、相談したいこともありますので、話をしていきたいと思います。

一旦休憩して、13時から先ほどのような流れの中で、自由討議についてやっていきたいと思います。その後は、前回の会議で皆さん方をお願いしておりましたように、決算特別委員会の意見集約とその致し方というところで、お一人ずつに御意見を頂戴したいと思いますので、準備をお願いします。今回は副委員長、小田上委員、藤川委員から御意見をいただきましたけど、今日は改めてまた頂戴したいと思いますのでお願いしたいと思います。

それでは、休憩をいたします。再開は午後1時を予定いたします。

11時49分 休憩

12時57分 再開

○寺岡委員長 それでは会議を再開します。

先ほど委員会中継の件について、それぞれ御意見をいただいて課題が掘り起こされました。

これからは自由討議について、このたびは実践をする場面がありませんでしたが、ここまで気づき等もお在りかもしれませんので、検証ということで、あればそれぞれお話しただけたらと思います。

私も1点ほど気づきがありましたので、皆さんに相談させていただきます。

まずは皆さんから何かあれば伺いたいんですが、どうでしょうか。実践されませんでしたからなかなか検証というわけにはいかないかもしれないんですが、じゃあ私のほうから失礼させていただいて、このたび議会運営委員会が2回ありました、2回目に追加議案が上がってきたんですよ。その上がってきたときに、前回の議会運営委員会のために使ったフローチャートです。流れをまとめたものですが、討議の申出で細かに申出の期限と通知、告知の期限、3日以内及び2日以内ということで区切らせていただいたんですが、このたび議案（その2）が上がった時点で、すぐに本会議になってしまうというケースがたまたま当てはまりまして、この3日以内2日以内というふうに厳密に書いていたのが、逆に制限になってしまったなということがありました。

局長、急に振って申し訳ないんですけど、議案（その2）が出てから、本会議それから常任委員会の日程、今手元があれば御紹介いただきたいんですけど、ありますか。

どうぞ、局長。

○田中事務局長 日程というのは、本会議初日の日程ということでよろしいでしょうか。

○寺岡委員長 本会議初日になるんか、そうかそうか。

○田中事務局長 議案（その2）が出ましたのが、その前の週だったかと思います。議案そのものが提出がされたのは、その取扱いについて定めるために、本会議初日9月8日の9時半から議会運営委員会で当日の本会議で上程しますという旨を諮っていただいております。実際に本会議に上程されたのが、翌日9月9日の一般質問終了後となっております。9月11日に生活環境委員会で議案を審議されたという流れになっております。

以上です。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

ですんで3日後にはもう所掌の委員会が開かれましたので、この3日以内2日以内というのが当てはまらない事態が起こってしまったんですよ。ここ分かったので整理できたらと思うんですけども、何かいいお知恵があればお借りしたいんですけど、どう思われますか、皆さん。もう速やかにというふうにするか、即日中に申出、通知というふうにするか、議会運営委員会がすぐあってすぐ本会議上程で、そのまま休憩して常任委員会というケースもゼロではないわけですよ、可能性としては。

小中委員。

○小中委員 この3日以内とか2日以内という縛りを外して、臨機応変に適宜ということでもいいんじゃないかと思えますけど、個人的には。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

今の小中委員のお言葉、お考えをお借りするとすれば、日程にその対応する時間的余裕がない場合は直ちに申出いただき、通知をするというふうなニュアンス的にはそういった言葉になりますか。基本的には1週間ぐらい前に上がるじゃないですか、普通のパターンでいったら、定例会初日の1週間ぐらい前に議会運営委員会で議案が上程されるんですが、それぐらいで対応します。臨機応変にできるようにしときましょうか。

副委員長。

○日域委員 対象とするのが議案なんですよ、それに限ってるんですよ、そうなるともうそれしかない。もちろん一般論として提案できる道筋があれば、また別の部分、今違いますよね。議論してるものがそれしかないから、議案ということになるとできないっていうんじゃああんまりですから、無理やりでも絶対したかったら強引に割り込めるという余地は残しとくほうがいいでしょう。

○寺岡委員長 ただいま皆さんに相談乗っていただいた件は、今のように当面進めていくということでもよろしいですか。このフローチャートの最初の中黒2つ、3日以内2日以内の下に、上の期日で対応する余裕がなければ直ちに申出通知を行う、ぐらいの言葉でしときましょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○寺岡委員長 それではそうさせていただきます、ありがとうございました。

そのほかの自由討議のほうで、皆さんから何か、今回ありましたか。

網谷委員。

○網谷委員 今の委員長のまとめの言葉に戻るんですが、これ討議の定義いうんですか、要するにもう討議にかけるといって、討議そのもののテーマを議案ということにもう決定してよろしいんですか。

○寺岡委員長 決定してます。

○網谷委員 決定してますか、そこまで聞いてなかった、それなら分かりました。

○寺岡委員長 自由討議についてはまた何かそれぞれお気づきあったら、その場面場面で申出いただいたら、皆さんにまた相談しながら進めていきたいと思えます。

では、次の日程に入ります。

次が決算特別委員会の意見集約と議会提案の実現に向けてというところで、前回何名かの委員にどういう形で意見集約をして、議会組織として執行部に提案をしていくかというイメージをまだまだ漠然とですが、お話をいただきました。お願いしていたように、それぞれのこういう形がいいんじゃないのかっていうのを御披露いただく時間に、今日は充てたいんですけども、御意見いただいたものをまた集約して、いろいろなパターンをつかって、また次回の会議につなげていきたいかなというふうに思います。ですので、もちろん今日結論が出るものでもありませんので、まずは自由な発想の中で、こういった格好が考えられるというところを、お願いしたいと思います。

お一人ずつお願いしたいんですけど、どなたからか、お願いします。

小田上委員。

○小田上委員 決算特別委員会の意見集約なんですけど、まず決算特別委員会の中でいろんな意見が出てきて、その中から執行部に、議案になるのか通達になるのかは別にして、上げていくものを選んでいく作業が必要になると思います。その基本的なこれを議案にするなり、伝えるなり、タイトルを選んでいく作業っていうのは、決算特別委員会の委員が行って、たたき台を作成し、議員全員協議会でそれでいいか諮ってもんでもらって、提出っていう形がいいんじゃないのかなと。予算組みの関係もあろうと思うんですけど、12月議会で予算に関われるのかっていうところが不安です、12月議会の段階で。もしも予算編成に影響力を持たせるのが難しいってことであれば、12月議会の委員長報告のタイミングで急ぐのではなくて、3月議会っていう方法もあるのかなと思ったりしたんですけど、そのあたりがスケジュールの問題、どうしたらいいのかなというところは、今分からないです。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

決算特別委員会の基本的なところは、決算特別委員会の委員が自分たちの会議で出た意見の中で、これを執行部に伝えましょうというのを、大ざっぱにというかまとめて、それを議員全員協議会で承認という形なのか同意という形なのか分かりませんが、それに認めてもらったものを、本会議のほう提出ということで、それが議会運営委員長名なのかは、議会運営委員会なのか、決算特別委員会なのかというのは置いて、取りあえず流れとしてはそういうところということですね、ありがとうございます。

藤川委員。

○藤川委員 私も前回言ったこととほとんど意見は変わってないんですけど、前は僕は議員全員協議会に諮り、もっとも僕はやり方が分からないので、言葉足らずで申し訳ないんですけど、最も重いほうを執行部の方、市長なり響く方法でやっていただければと思います。やっぱり皆さんの意見集約が、一番大事になってくると思うんです。各委員会でも、そしてまた議員全員協議会に諮ってもらい、全員の一致した上でやったらいいのかなと。

○寺岡委員長 全議員の一致っていうのは、藤川委員の中では前提条件となるわけですか。

○藤川委員 そうです。僕はそのほうがやっぱり重みがあるかなと、僕は重みの面で言えば、どれがいいのかいうのは分かりませんが、取りあえず最も執行部の方が重く捉えてくれる、いただける方法で。

お願いします。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

ほかどうでしょう。

山崎委員。

○山崎委員 先ほど小田上委員がおっしゃって、私もいいんじゃないかというふうに考えます。

以上です。

○寺岡委員長 分かりました。

基本的なところは、決算特別委員会であっていいということですか、ありがとうございます。

ちなみに同意見ということで、議員全員協議会でもむというの、ここでまた意見を出し合っていくという、そういうイメージ。

どうぞ。

○小田上委員 基本的に決算特別委員会で発言している委員の中で選ばれたものなので、そこからプラスっていうことではなくて、マイナスしていく作業を想像しています。

○寺岡委員長 山崎委員、そういった感じで小田上委員はお考えだという。

どうぞ。

○山崎委員 マイナスしていくという表現、私が理解できませんが、要は決算特別委員会の委員さんの皆さんの中で、これとこれをお願いしようということになった場合に、議員全員協議会でこれでどうだろうかということでのいろいろ意見交換しながら、それでいいということになれば、議会の総意として執行部に要求していくという私は考え方なんですけども、小田上委員さんと違わよな気がするんですけど、どうでしょうか。

○寺岡委員長 総意というところが、議員全員協議会でできるものかどうかというのがありますが、全員が納得したような格好でという、そういった思いでまずはよろしいですか。ありがとうございます。

続いて、どなたかお願いします。

小中委員早かったのでお願いします。

○小中委員 基本的には、決算特別委員会でそういう何にするかということを選んでいただいて、議員全員協議会に諮ったときは単純に同意ということじゃなくて、例えばそこで、これはこうしたほうがいいんじゃないかという修正っていうか、そういう意見も出せるようにしたほうがいいんじゃないかと思えますけども。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

その上で、本会議でやっぱり諮るっていうところまではお考えですか。

西村委員どうぞ。

○西村委員 決算特別委員会、委員の皆さんそれぞれの思いがあると思いますが、その中の意見集約で、緊急性とかあるいは相対的にこれが一番大事なんじゃないかという分を、議会提案が実現に向けてという、私は解釈しとるんです。だから皆さんで執行部に対してやるものでも、今ぜひともこれをやらないけんという、重がったものを集約するというのは、本当にそれぞれ委員の意見がきちっとまとまらんなかなか出しにくいと思うんで、そう

いう点は皆さんどうかなという懸念があります。

以上です。

- 寺岡委員長 中略が多過ぎてよく分かんなかったんですけど、ごめんなさい。決算特別委員会で基本的には青写真をつくっていきましょうというところですよね。何らかの形で、全員の意見というか賛意でもいいし、修正案でもいいし、そういったものが含まれるような何か仕組みを当てはめて、それを本会議に諮るのか、それとも口頭で伝えるにしても何にしてもいろいろあるんですけど、そこら辺の具体的なやり方ってのは何かありますか。
- 西村委員 要は決算特別委員会の意見の集約ですので、緊急性がある場合も出てこようし、あるいはまた長期的にこういうものは提案をするべきじゃないかということを見据えて、本会議に提案するという思いで決めるべきじゃないかと思います。
- 寺岡委員長 本会議という段取りは必要であると。今、議員全員協議会という言葉を使ってなかったんで、全員の意思を確認する場面として、例えば会派に持ち帰ってもらい会派代表者会議でもむとか、そういったことも含まれると思うんですが、お考えの中にありますか、分かりました。
- あと網谷委員どうでしょう。
- 網谷委員 一番近いのは小中委員の言われたように、議員全員協議会で委員の皆さんが少しでも意見が出せるぐらいの幅があってもいいんじゃないかと思います。若干の意見が出せるぐらいの余裕があってもいいんじゃないかというぐらいです。
- 寺岡委員長 まとめ上げはどうします、最後の段取りとしては。
- 網谷委員 もちろん議員全員協議会でまとめていただいたら、これ以上のものはないと思いますよ。それで議会として出して、本会議で出すということで、要するに本会議に上程するという意味ですよ。
- 寺岡委員長 それも決まってないですよ。
- 網谷委員 それもしてない。
- 寺岡委員長 決まってない。
- 網谷委員 私はそういうふうには解釈しとるんで。もちろん議員全員協議会で、ある程度のものが決まったものは上程して、議員全員協議会で決まったものですから反対はないと思いますが、決めていただいたらええんじゃないかと思います。
- 寺岡委員長 本会議で決議ということ、分かりました。
- 副委員長よろしいですか、どうぞ。
- 日域副委員長 要望というのは、今まで皆さんしてきたわけですよね。要望ですって言ったら執行部は答弁しないですよ。だから少々無理、明らかに無理なことでも要望ですって言ったら終わるんです。要望ってそういう言い方してきましたから、Aさんの要望とBさんの要望矛盾することもあるんです。こちらが要望しても執行部はできないこともあるんですよ、内容は言えないけどもできないことはあるんですよ。だから、議会の総意で持って、執行部をねじ伏せるっていうのは私間違った考えで、やっぱり基本的にはアイデアの提供だと思うんですが、それであまりにも理解力が足りない上でつい言ってしまった要望とか、そういうものは排除するっていうのが目的っていうかな、みんながまとめるときの

目的だと思うんですけども、そうした上で、確かにそうよねっていうやつを選んで、皆さんもそう言ってますが、そういう議員全員協議会でいいんですけども、そういうところでチェックをするっていうのはそういう意味だと、私は思うんですけども。逆にあんまりきついことをやると、要望できなくなりますから、おまえ要望したのどうやってやるんやって無理だろうって、どういう理屈でこのこと成り立つんやって言われたらしゃべんなくなりますから。だからあまり片意地張らないほうがいいような気はします。ただ皆さんがおっしゃるやつをまとめて一覧表にしとくこと自体は意味があるし、それを執行部に渡すのはいいと思います。間に合うか間に合わないかっていうのは、なんせ決算特別委員会なら決算特別委員会でもしゃべってるわけですから、向こうは聞いているわけですから、それを改めて出すのが遅かったからどうこうってものでもないから、そら少々遅れても、あのとき言ったやつをまとめてすって渡しゃいいわけで、意味があると僕は思えばそれは採用してくれますから。なかなか面白いんですけどもやり過ぎないように、でもちゃんとやるようにっていう気がしています。

以上です。

○寺岡委員長 ありがとうございます。

特にやり方云々というよりも、捉え方というか、心構えというか、そういったところで今お話しくささいましたか、ありがとうございます。要望は確かに委員会で聞いているはずですから。ありがとうございました。

これで今の中で共通するのは、議員全員協議会なり何なりで、16人の意見っていうのは聞く場面が必要ではないかというところは、今のところとも通のものではないかなというふうに思います。あとは本会議というところもありました。本会議でも上げ方いろいろありますので、そこはまた、今からまた検討していけばいいと思います。

誰がやるかというところで、今のところは決算特別委員会の委員さんがそのままやればええんじゃないかという御意見多いんですが、幾つかも課題が残ってます。決算特別委員会のそもそもの役割というのが、今条例上どうなってるのか、決算特別委員の仕事ですよ、それに追加する仕事をするようになるのであれば、条例変えたり会議規則変えたりということも必要ですし。

それから全員が納得という御意見もありました。議員全員協議会では採決は取る場面ではありませんので、場合によっては出さない年もあり得るなど、この議会としての意見、今回の目標の分ですよ、それを執行部に出せないか、出さないじゃなくて、まとまらなくて出せない年も起こってくるんだろうなというふうなのは、皆さん方の話を聞いて思いました。

今日いただいた全員の意見を、こういう考え方があるとかいうのも、また次回お示しできればと思いますので、それもまた、たたき台にしていろいろ意見交換をしたいと思います。やはり実現させるためには、今あるルールをどう変える必要があるのか、具体的に誰がどの作業をしなければいけないのか、こういったところも入れたら入りたいなというふうに思います。まとめてみますので、次回会議までお時間いただけたらと思います。

特に何か追加でありますか、議長とかも何か思いがあれば、ありますか。

○細川議長 特に具体的にあるわけじゃないんですけども、何のために、今この議論をしているのかっていう、その目的がしっかりしていればいいんじゃないかと思います。

あとは今、議員全員協議会というのは採決する場でないんで、それがふさわしいかどうかというのは、もう一回よく規則とかも照らし合わせながら、もう一回考えてみたいと思います。

以上です。

○寺岡委員長 目的についてはいつもと同じように、この研究テーマにはこういう目的がありますよというのは、これまでのやり取りの中のを拾い上げてつけておきます。また確認をしてシェアしていきましょう。

それじゃあ、今日はこの程度にしたいと思います。次回の会議の日程だけ調整をしたいと思います。

次回がそれぞれ決算特別委員会の絡みがあるんですかね。年間の予定では10月9日金曜日から明けて12日、13日、予備日14日ですので、さすがにこれは終わらせてからというふうにはなろうかと思しますので、19日の週か26日の週の初めぐらい、このあたりで考えたんですけど、19日月曜日いかがでしょう。16でもいいんですけど、16日か19日かこのあたりいかがでしょうか。事務局何か、議長は。

どうぞ。

○田中事務局長 19日の週ですと金曜日以外は、特段今のところ公務は入っておりません。日程3をまだやってないと思うんですけど。

○寺岡委員長 そうですね。次回会議は後回しにします、大変失礼しました。日程3が行動計画の見直し確認の時期にきておりますので、お示しをしたいと思います。

さっきの議題のときに、一旦出しました日付が、今日の日付になってます。黄色いのはここを大体目安にやってみましょう、もしくは終わった分はやってきましたというところ。青色のところ、この来年の3月ぐらいにはやっとならないといけませんねっていうところになってます。基本的にはこれまでの計画をやってきて消化されたものもありますし、まだ試行期間、検証中っていうものもありますので、きっちりこのままというわけじゃないんですけど、大きな動きとしてはこのとおりで、今後も続けていこうかとは思ってるんですけど、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○寺岡委員長 じゃあそうさせていただきます。

来月のミーティングで、SNSは今日で大体決着がついたかなと、もう少し様子見しましょう。委員会中継も、次は12月まで基本的に常任委員会ありませんので、様子見と、このままいくと、事務局のほうに研究を進めていただきたいと思います。自由討議もそうですね、自由討議もあと12月に行われる可能性は残っているということで中身は変化ないかと思えます。

先ほどの決算特別委員会について、次回の意見交換の中心になるかと思えます。日付が23日以外、大体オーケーと、議長はオーケーらしいんですけど、私としては16日か19日あたりがありがたいんですけども、ほかの皆さんいかがですか、10月、19日オーケーですか。

ほかの皆さん19日10時からいうことで予定入れてもよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○寺岡委員長　じゃあそうさせていただきます。次回会議は10月19日月曜日10時から開かせていただきますので、決算特別委員会のまとめ方、生かし方この辺を中心に意見交換させていただきます。それぞれ、また準備のほうお願いします。

では以上で、今日の会議は終わりたいと思います。長時間どうもありがとうございました。

13時28分 閉会